

BUSINESS REPORT

第108期 近況報告 (平成20年4月1日 ▶ 平成20年9月30日)





C O N T E N T S

1 ごあいさつ

2 事業別概況

4 連結財務諸表

6 単独財務諸表

7 中期経営計画の策定について

8 ニュース & トピックス

10 株主の皆様へのお知らせ

12 会社概況

13 株主優待のご案内

ごあいさつ

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は、当社事業に対し、格別のご支援を賜り誠にありがとうございます。
心から御礼申し上げます。

上半期におけるわが国経済は、原油など原材料価格の更なる高騰による個人消費の低迷や、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融不安を受け、景気の先行き不透明感が一層強まりました。

このような状況のもと、当社グループは、レジャー・サービス事業において4月、富士本栖湖リゾートで首都圏最大規模の「富士芝桜まつり」を開催し、約30万人のお客様にご来場いただきました。また今夏、富士急ハイランドに日本初となる巻き上げ型ラフティングライドの新アトラクション「ナガシマスカ」を導入、さらに富士南麓の遊園地「Grinpa（ぐりんぱ）」には「M78ウルトラマンパーク」内に新アトラクション「ウルトラマンタロウレインボーシップ」を、「PICA山中湖ヴィレッジ」には地元食材をメニューに揃える地産地消をテーマにしたレストラン「Grill&Beer FUJIYAMA GARDEN」をオープンし、時節のニーズに応じた施設・商品の導入を図り増収に努めました。

また、「さがみ湖ピクニックランド」は、7月に名称を「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」に変更し、英国生まれのキャラクター「パディントンベア」を使用したレストランやショップ、トレーラーハウス等が登場いたしました。

運輸事業では、過去最多となった富士登山者の安全・安心・手軽な移動手段として当社乗合バスがその使命を果たしました。高速バスでは、周辺地域また別荘オーナー様からのご要望にお応えし、月曜日の早朝時間帯に山中湖畔から東京駅への「東京ライナー」の運行を開始し、当社グループならではのシナジー創出を進めました。

以上の結果、新規事業の展開と積極的な営業活動に努めましたが、8月下旬以降の天候不順によるレジャー施設の集客減や税制改正に伴う減価償却費の増加などにより四半期（中間）の連結売上高は245億円（前年同期比1.3%減）、経常利益は14億60百万円（同34.2%減）、純利益は6億93百万円（同35.7%減）となりました。

下半期におきましても、当社グループを取り巻く事業環境は、金融市場の混乱による更なる景気の下振れ懸念も予想され、引き続き厳しい状況が続くものと考えられます。

このような状況の中、本年新たに策定した中期経営計画における「ポートフォリオマネジメント戦略」、「エリア戦略」に基づき、グループ一体となって企業価値の向上を図ってまいります。

今後も、当社グループは、ステークホルダー重視の経営を心がけるとともに、コーポレートガバナンスを一層充実させ、地域社会への貢献、自然環境への配慮等企業の社会的責任を果たしてまいります。

株主のみなさまには、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年11月

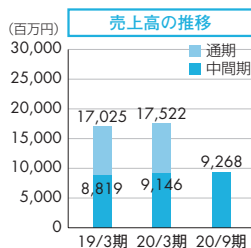
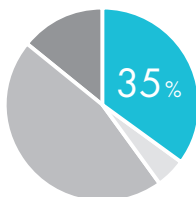
代表取締役社長

堀内 光一郎



事業別概況

運輸事業



鉄道事業では、JR東日本及び地元自治体と連携し、ハイキング等イベントの開催や首都圏からの直通列車の増発、7月からは特急運行10周年キャンペーンを実施し、需要の喚起と利便性の向上を図りました。

乗合バス事業では引き続き不採算路線の改善として、静岡県内の一部路線をグループタクシー会社に移管し、また利用率の低い日中の便の減便など経営の効率化を図りました。また富士登山輸送についてはマイカー規制日の増加や登山ブームの影響により利用者が増加いたしました。

高速バス事業では、東京駅～河口湖線、東京駅～富士宮線の運行本数の増便、共同運行会社と連携した富士急ハイランドセット券の宣伝強化などにより、利用者の増加を図りました。貸切バス事業については軽油高騰分の運賃アップ交渉を徹底し、日車収入向上を図り利益確保に努めました。

また、平成20年9月にはICカード「PASMO」の設置が完了し、お客様の利便向上を図りました。

以上の結果、ハイヤー・タクシーなどの各事業を含めた運輸事業全体の営業収益は9,268百万円（前年同期比1.3%増）となり、営業利益は軽油費の高騰などが影響し、830百万円（同19.5%減）となりました。

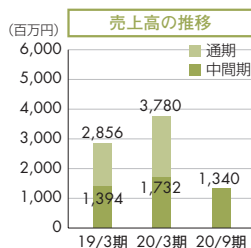
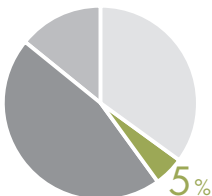


ホリデー快速河口湖号



富士登山バス

不動産事業



不動産販売事業につきましては、山中湖畔別荘地でお客様のニーズに応えるための『コンセプト・ヴィラ』の商品開発の下、“クルマと遊び、クルマと暮らす”をコンセプトに「ガレージハウス山中湖<第3期>」の販売、“音の森”をコンセプトに「ハーモニーハウス山中湖」の販売“ワインと食”をコンセプトに「セラーハウス山中湖」を販売し、需要の掘り起こしに努めました。

不動産賃貸事業につきましては、定期的な施設の改修を行い、安定的な収入の確保に努めるとともに、用地の活用等を推し進めました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は1,340百万円（前年同期比22.6%減）、営業利益は211百万円（同55.5%減）となりました。

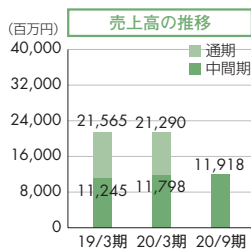
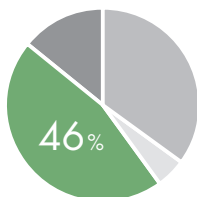


ガレージハウス山中湖



ハーモニーハウス山中湖

レジャー・サービス事業



遊園地事業では、富士急ハイランドにおいて7月に日本初となる巻き上げ型ラフティングライドアトラクション「ナガシマスカ」を導入、猛暑の影響もありお客様から好評を博しました。

富士南麓の遊園地「ぐりんぱ」では、7月にテーマゾーン「M78ウルトラマンパーク」内に新たにアトラクションとレストランをオープンさせ、エリア全体の魅力をさらに高めました。

さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト（旧さがみ湖ピクニックランド）においては7月に名称変更を行うとともに、英国生まれの人気キャラクター「パティントン・ベア」をイメージキャラクターに起用することでイメージ向上を図りました。また、富士本栖湖リゾートでは4月下旬から6月上旬まで、首都圏最大規模の「富士芝桜まつり」を開催し、約30万人のお客様にご来場いただきました。

富士急ハイランドに隣接する「ふじやま温泉」では「富士芝桜まつり」との連携や、富士登山客の集客に努めた結果、利用客が前年を大幅に上回りました。

ホテル旅館業では、4月に「熱海シーサイドスパ&リゾート」をリニューアルオープンさせ、和洋室の増設や、創作料理処「おとや」の出店等により価値向上を図りました。

以上の結果、繁忙期の夏場における天候不順等がありましたが、各事業を含めたレジャー・サービス事業全体の営業収益は、11,918百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は税制改正に伴う減価償却費増加等もあり963百万円（同20.2%減）となりました。

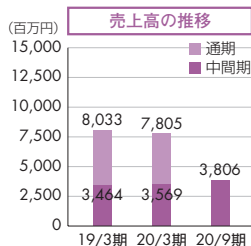
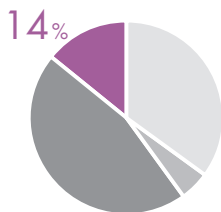


ふじやま温泉



熱海シーサイドスパ&リゾート

その他事業



製造販売業では、富士ミネラルウォーターが7月に行われた北海道洞爺湖サミットで会議卓上水に採用されました。販売面でも非常用保存水としての需要を引き続き取り込むなど増収に寄与しました。また、レゾナント・システムズではドライブレコーダー等交通機器の販売を積極的に展開し順調に推移しました。

以上の結果、営業収益は3,806百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は65百万円（同86.8%増）となりました。



富士ミネラルウォーター 富士五湖

連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

単位：百万円

科目	期別	当第2四半期 連結会計期間 (平成20年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成20年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		21,460	20,160
現金及び預金		7,045	5,759
受取手形及び売掛金		2,001	2,305
たな卸資産		11,084	10,991
その他		1,329	1,103
固定資産		63,857	63,357
有形固定資産		54,541	53,768
建物及び構築物		28,068	28,116
機械装置及び運搬具		8,282	7,920
土地		15,631	15,632
リース資産		459	—
建設仮勘定		486	495
その他		1,613	1,602
無形固定資産		3,029	3,054
投資その他の資産		6,285	6,534
投資有価証券		4,551	4,972
その他		1,734	1,561
資産合計		85,317	83,518

科目	期別	当第2四半期 連結会計期間 (平成20年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成20年3月31日現在)
(負債の部)			
流動負債		24,118	29,610
支払手形及び買掛金		2,378	2,594
短期借入金		16,827	22,842
賞与引当金		489	497
その他		4,422	3,676
固定負債		45,180	37,825
長期借入金		38,452	31,481
退職給付引当金		1,449	1,452
役員退職慰労引当金		—	342
その他		5,278	4,549
負債合計		69,299	67,436
(純資産の部)			
株主資本		15,632	15,472
資本金		9,126	9,126
資本剰余金		3,399	3,399
利益剰余金		4,509	4,345
自己株式		△1,402	△1,398
評価・換算差額等		△140	97
その他有価証券評価差額金		△140	97
少数株主持分		525	511
純資産合計		16,017	16,081
負債・純資産合計		85,317	83,518

連結損益計算書 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	当第2四半期 連結累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (ご参考) (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)
営業収益		24,500	24,814
営業費		22,457	22,094
営業利益		2,042	2,720
営業外収益		82	167
営業外費用		665	668
経常利益		1,460	2,219
特別利益		74	154
特別損失		202	413
税金等調整前四半期 (中間) 純利益		1,332	1,960
法人税、住民税及び事業税		640	937
法人税等調整額		△22	△87
少数株主利益		20	32
四半期 (中間) 純利益		693	1,078

連結キャッシュ・フロー (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	当第2四半期 連結累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (ご参考) (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		3,281	3,058
税金等調整前四半期 (中間) 純利益		1,332	1,960
減価償却費		2,159	1,959
その他損益等調整額		670	413
資産・負債の増減額		64	54
小計		4,227	4,389
利息の支払額等		△945	△1,331
投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,418	△1,856
有形固定資産の取得による支出		△2,712	△2,439
その他		294	582
財務活動によるキャッシュ・フロー		420	308
借入金の増減額		956	820
その他		△536	△512
現金及び現金同等物の増減額		1,283	1,509
現金及び現金同等物の期首残高		5,671	6,304
現金及び現金同等物の四半期 (中間期) 末残高		6,955	7,814

単独財務諸表

単独貸借対照表（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	第108期第2四半期 (平成20年9月30日現在)	第107期前事業年度 (平成20年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		18,860	17,681
固定資産		56,670	56,751
資産合計		75,530	74,433
(負債の部)			
流動負債		18,827	24,473
固定負債		41,218	34,073
負債合計		60,046	58,547
(純資産の部)			
株主資本		15,637	15,817
資本金		9,126	9,126
資本剰余金		3,399	3,399
利益剰余金		4,070	4,246
自己株式		△959	△955
評価・換算差額等		△152	68
その他有価証券評価差額金		△152	68
純資産合計		15,484	15,886
負債・純資産合計		75,530	74,433

四半期単独損益計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	第108期 第2四半期（累計） (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	第107期中間期 (ご参考) (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)
営業収益		12,888	13,164
営業費		11,486	11,353
営業利益		1,401	1,811
営業外収益		96	102
営業外費用		619	580
経常利益		878	1,333
特別利益		27	144
特別損失		196	413
税引前四半期（中間）純利益		709	1,064
法人税、住民税及び事業税		377	599
法人税等調整額		△28	△53
四半期（中間）純利益		360	518

富士急グループ「2008年度－2010年度中期経営計画」の策定について

当社は、経営理念『いつも「喜び・感動」』に基づき、この度、さらなる企業価値の向上を追求するため、富士急グループ「2008年度－2010年度中期経営計画」を策定いたしました。本期間につきましては、景気の不透明感等、予断を許さない環境が予想されますが、富士山の世界遺産暫定リスト入り、富士山・富士五湖地域が観光圏整備実施計画の認定対象地域になるなど、フォローも期待できます。こうした環境に対処すべく、新たな中期経営戦略に重点的に取り組んでまいります。

1. 数値目標

(1) 目標とする経営指標

ROA（連結総資産経常利益率）2008年3月期（実績） **3.0%** ➡ 2011年3月期 **4.9%**以上

(2) 中期連結業績予想

	2008年3月期（実績）	2011年3月期
営業収益	475	515
営業利益	36	53
経常利益	26	42

2. 中期経営戦略

(1) ポートフォリオマネジメント戦略

当社グループならではの、3事業のポートフォリオ効果によって収益変動性（リスク）をコントロールしながら収益性（リターン）を最大化へ

(2) エリア戦略

富士山を中心とする「3エリア」での事業展開＋「首都圏エリアの機能強化」

① ハイランドエリア

富士五湖周辺観光客1,800万人超から新たな客層を取り込むため、「ふじやま温泉」や「富士芝桜まつり」などの、客層に応じた戦略的設備投資を推し進め、「富士急ハイランド」「ハイランドリゾート ホテル&スパ」「フジヤマミュージアム」などの当社グループ施設、並びに、周辺地域施設との連携強化を図ってまいります。

② 山中湖エリア

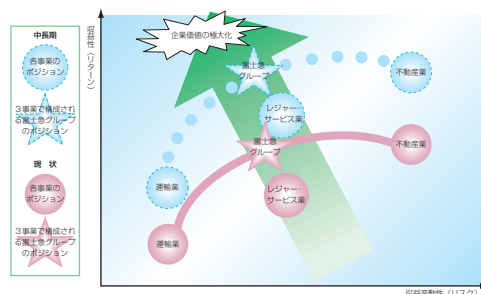
「山中湖畔別荘地」では、「大人達のこだわり実現リゾート」をエリア理念に、ライフスタイル提案型の戦略商品を投入するとともに、「PICA山中湖ヴィレッジ」やアフターサービスの充実といったサプライ機能を強化し、山中湖エリア全体の価値を高めてまいります。

③ フジヤマリゾートエリア

「五感で体感！コミュニケーションリゾート」をエリア理念に、遊園地「ぐりんぱ」、ゴルフパーク「バンディ」、スノータウン「イエティ」、キャンプ場「キャンピカ富士ぐりんぱ」といった体感型アメニティを一段と充実させるとともに、十里木高原別荘地の価値を高めることを通じて、エリア全体の価値向上を図ってまいります。

④ 首都圏エリアの機能強化

当社グループの運輸業・不動産業・レジャー・サービス業などのノウハウを有効活用することにより、「さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト」等の首都圏でのビジネスを展開し、併せて、富士山周辺エリアへの送客機能等を強化する成長戦略に取り組んでまいります。



ニュース&トピックス

富士本栖湖リゾートで「富士芝桜まつり」開催

雄大な富士山を望む富士本栖湖リゾートで、首都圏最大級のシバザクラの庭園「富士芝桜まつり」が開催され、約2.4haの植付け面積に、約70万株のシバザクラが咲き乱れ、多くのお客様を魅了しました。



富士急ハイランドに「ナガシマスカ」がオープン

富士急ハイランドに、日本初登場となる巻き上げ型ラフティングライド「ナガシマスカ」がオープンしました。シンボルである夫婦のお猫様は、純金箔張りで高さ10m。世界最大の招き猫としてギネス世界記録に申請中です。

ナガシマスカ



トーマスランドで「10周年アニバーサリーフェスティバル」を開催

富士急ハイランド「トーマスランド」が開園10周年を迎え、「10周年アニバーサリーフェスティバル」を開催しており、「トーマスとパシーのわくわくライド」「ガトゴトだいぼうけん！」をリニューアルしたほか、カステラショップ「Lady hatt's afternoon tea」を新しくオープンしました。



©2008 Gullane (Thomas) Limited

「ぐりんぱ」M78ウルトラマンパークに新規施設オープン

富士南麓の遊園地「ぐりんぱ」のM78ウルトラマンパークに、“振り子”のように左右に揺れるレインボーカラーの大型アトラクション「ウルトラマン レインボーシップ」とM78ウルトラマンをモチーフにしたレストラン「M78プラネットダイニング」がオープンしました。



「さがみ湖ピクニックランド」がリニューアル

平成19年2月から当社グループに加わった「さがみ湖ピクニックランド」は今春、英国生まれの「パディントン ベア」をイメージキャラクターとして迎え、更に名称を「さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト」に変更しました。園内には日本初となるスイートタイプのキャンプサイト「ロイヤルスリーパー」を導入した「パディントン ベア・キャンプグラウンド」をオープンするなど、今後も新たな取組みを行ってまいります。



PICA山中湖ヴィレッジに「Grill & Beer FUJIYAMA GARDEN」がオープン

富士山と山中湖を望むPICA山中湖ヴィレッジに、富士山の恵みが凝縮されたメニューを堪能できるリゾート型バーベキューガーデン「Grill & Beer FUJIYAMA GARDEN」がオープンしました。



富士ミネラルウォーターが「サミット」会議卓上水に採用

昭和4年の創業より愛され続けられている「富士ミネラルウォーター」が、「北海道洞爺湖サミット」で首脳会議の卓上水として使用され、1979年・86年・93年の3回の東京サミット、2000年の九州沖縄サミットに続き、連続5回の採用となりました。



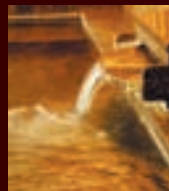
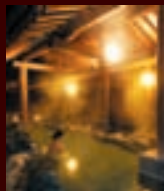


湧きいでる、
富士山の
くつろぎがある。

日本最大級純木造浴室

天然温泉

※ふじやま温泉は加温・循環式・加水なしです。



温泉棟：大風呂、露天岩風呂、日替わり風呂、水風呂、サウナ、ジェットバス、バナジウム風呂、寝湯、岩盤浴、あかすりコーナー

休憩棟：●1F…フロント、売店、更衣室、ロビー ●2F…和食ダイニング「車座」、リラックスする一む「うたた」

●3F…展望休憩室、ポディケアコーナー、東洋整体 ●4F…女性専用フロア リラクゼーションルーム、仮眠室、スパトリートメント「セレノ」

 **ふじやま温泉**

中央自動車道/河口湖インター隣接
ご予約・お問い合わせ **tel.0555-22-1126**

〒403-0017 山梨県富士吉田市新西原4-1524 ●営業時間/10:00~23:00(受付22:00まで) ●不定休 ●駐車場完備(無料)
通常入館料金(館内着・バスタオル・フェイスタオル付) ■平日：大人1,500円/子ども750円 ■土日：大人2,000円/子ども1,000円

www.fujiyamaonsen.jp



Fujikyū group Highway bus

富士急グループ高速バス

富士急が贈るとっておきのバスの旅

平成20年運行開始

京都・大阪線 (10月1日より好評運行中)



■富士吉田駅発着

大阪市内……………8,500円

京都駅……………8,000円

予約先 山梨地区 0555-72-2922

静岡地区 0545-71-2660

■新松田駅発着

大阪市内……………7,600円

京都駅……………7,100円

予約先 神奈川地区 0465-82-1362

静岡地区 055-929-1144

■インターネット・携帯電話予約「発車オーライネット」<http://www.j-bus.co.jp>

羽田空港線



■富士・富士宮発着 (横浜経由)

平成20年12月中旬より運行開始予定

詳しくは富士急静岡バス(株)

0545-71-2495 お問い合わせ下さい。

好評運行中

成田空港線

■静岡東部発着

新富士駅……………5,000円

沼津駅北口……………4,500円

予約先 0545-71-2660

■<http://www.j-bus.co.jp>

■松田・小田原発着

松田……………4,000円

小田原……………3,800円

予約先 0465-82-1362

■<http://www.j-bus.co.jp>

新宿線

■富士五湖発着

河口湖駅・富士急ハイランド……………1,700円

予約先 0555-72-5111

■甲府発着

甲府駅……………1,950円

予約先 055-237-0135

■沼津発着

沼津駅北口……………2,100円 千福下……………1,800円

予約先 055-929-1144

■諏訪岡谷発着

岡谷駅……………3,060円

■伊那発着

駒ヶ根市……………3,650円

予約先 03-5376-2222

■<http://www.highwaybus.com>

東京線

■富士五湖・御殿場発着

河口湖駅・富士急ハイランド……………1,700円

富士急御殿場車庫……………1,600円

予約先 0555-72-2922

■富士宮発着

富士宮駅……………2,500円

■富士・吉原発着

富士駅南口・吉原中央駅……………2,300円

予約先 0545-71-2660

■沼津発着

沼津駅北口……………2,100円

千福下……………1,800円

予約先 055-929-1144

■<http://www.j-bus.co.jp>

横浜線

■富士五湖・御殿場発着

河口湖駅・富士急ハイランド……………2,000円

富士急御殿場車庫……………1,600円

予約先 山梨地区 0555-72-2922

横浜地区 045-628-2180

■<http://www.j-bus.co.jp>

季節限定で運行しております。

- 富士山五合目～静岡駅線
- 富士五湖～高崎・前橋線
- 富士五湖～静岡駅線
- 富士五湖～名古屋線
- 富士五湖～川越・大宮線
- 富士五湖～新松田線
- 富士五湖～所沢・大宮線

 **富士急行**

TEL.0555-22-7100

URL <http://www.fujikyū.co.jp>

株主優待のご案内

電車・バス・観光施設共通優待券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数
1,000株以上	電車全線乗車（1枚につき片道1名乗車） バス全線乗車（1枚につき片道1名乗車） 富士急ハイランド（1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換） ぐりんぱ（1枚につき1名入園、5枚につきワンデーカーボン1枚と引換） さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト（1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換） スノータウンYell（5枚につき1日入場滑走券1枚と引換） あだたら高原スキースキ場（5枚につきリフト1日券又は Gondola 往復券1枚と引換） 初島アイランドリゾート（1枚につき1名入園） 天上山公園カチカチ山ロープウェイ（1枚につき1名乗車（往復）） 河口湖遊覧船・山中湖遊覧船・本栖湖遊覧船（1枚につき1名乗船） 初島航路（1枚につき1名乗船（片道）） フジヤマミュージアム（1枚につき1名入館） ふじやま温泉（2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館） 富士芝桜まつり（富士本栖湖リゾート）（1枚につき1名入園）	7枚
3,000株以上		10枚
5,000株以上		15枚
10,000株以上		25枚
20,000株以上		40枚

フリーパス引換券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数
1,000株以上		1枚
3,000株以上		2枚
5,000株以上	遊園地フリーパス（富士急ハイランド・ぐりんぱ・さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト）	3枚
10,000株以上	スキー場一日券（スノータウンYell・あだたら高原スキー場）	4枚
20,000株以上		5枚
35,000株以上		6枚

施設割引券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数	
1,000株以上	ハイランドリゾートホテル&スパ ホテルマウント富士	1枚につき1室室料20%又は自社企画宿泊商品10%割引	2枚
	富士急グループホテルフル割引	ハイランドリゾートホテル&スパ・ホテルマウント富士20%割引（1枚につき4名まで）	2枚
	あだたら高原富士急ホテル 富士宮富士急ホテル 甲府イーストサイドホテル	3ホテル共通1枚につき1室室料20%又は自社企画宿泊商品10%割引	2枚
	富士急グループホテル 飲食割引	レストラン・バー、食事付入浴10%割引（1枚につき4名まで）	5枚
	富士ゴルフコース	バック料金から2,000円割引（1枚につき4名まで）	1枚
	ゴルフパーク [Bandi]	バック料金から2,000円割引 日曜・祝日3,000円割引（1枚につき4名まで）	1枚
	大富士ゴルフ場	バック料金から2,000円割引（1枚につき4名まで）	1枚
	ふじやま温泉	入館料 平日 大人750円 小人400円 土日 大人1,000円 小人500円 （1枚につき4名まで）	2枚
	PICAM山中湖ヴィレッジ	コテージ1棟（素泊り）10%割引 レストラン「FUJIYAMA KITCHEN」5%割引	2枚
	PICA富士吉田・PICA富士西郷・キャンピカ富士ぐりんぱ	1枚につき1泊1室10%割引	2枚
	富士ミネラルウォーター	1枚につき20%割引（1ケース以上）	1枚
	富士急トラベル	パッケージ旅行代金の5%割引（1枚につき4名まで）	2枚
	富士急ハイランドボウリング場	1ゲーム350円（1枚につき4名まで）	2枚
	富士急オートサービス	車検・点検・整備 工賃10%割引	1枚

長期保有特別優待券（3年継続保有毎）

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数
10,000株以上	「ハイランドリゾートホテル&スパ」「ホテルマウント富士」の指定するツインルーム室料100%又はホテル内レストラン利用料30%割引券	2枚
35,000株以上		3枚

注）対象となる方は、過去3年間すべての基準日において、1万株以上又は3万5千株以上を継続して保有し、かつ株主番号又は氏名・住所が継続して同一である株主様に限りま。
証券保管振替機構をご利用になる際など、株主番号が変更になる場合には、登録する氏名の新字体と旧字体の違いなどにもご注意ください。
注）年末年始、ゴールデンウィーク、旧盆（8月）等、ホテルが定めた日のご宿泊にはご利用いただけません。レストラン利用料の割引額の上限は3万円といたします。

高速バス乗車券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数
5,000株以上		1枚
10,000株以上	高速バス乗車券	2枚
20,000株以上		4枚

注）高速バス乗車券は、中央高速バス富士五湖線・甲府線および東名高速バス東京駅～河口湖線の当社便に限りご利用いただけます。

電車・バス全線優待バス

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数
35,000株以上	電車・バス全線優待バス（表示された持参人1名）	1枚

● 各種株主優待券の発行時期および有効期間

	発行時期	有効期間
3月31日現在の株主様	5月	11月30日まで
9月30日現在の株主様	11月	翌年5月31日まで

注）各種株主優待券は毎年3月31日および9月30日の最終の株主名簿・実質株主名簿に記載された1,000株以上ご所有の株主様に送付いたします。

注）長期保有特別優待券の有効期間に限り、「1年間」といたします。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081
(電話問合せ) (郵便物送付先)	東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 Tel.0120-232-7111（フリーダイヤル）
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
公告方法	東京都において発行する日本経済新聞に掲載



富士急行株式会社

本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号

東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号

<http://www.fujikyu.co.jp/>



本誌は再生紙を使用しています。